

ピアノ・リサイタル

ユリアナ・アザデーエフ

AVD
piano recital

Yuliana

ベートーヴェン: 幻想曲 op. 77

Beethoven: Fantasy op. 77

ベートーヴェン: 「エロイカ」の主題による変奏曲とフーガ 変ホ長調 op. 35

Beethoven: Eroica-variations, 15 variations and Fugue in E-flat major op. 35

ハイドン: アンダンテと変奏曲 ヘ短調 Hob. XVII-6

Haydn: Andante with Variations in F minor Hob. XVII-6

ラフマニノフ: ピアノ・ソナタ第2番 変ロ短調 op. 36

Rachmaninov: Piano Sonata No. 2 in B-flat minor op. 36

2021年

2/19日(金)19時 紀尾井ホール

Friday, February 19, 2021 at 7 p.m. Kioi Hall, Tokyo

S¥7,000 A¥5,000 プラチナ券¥12,000

主催: KAJIMOTO 協力: 株式会社 キングインターナショナル

来日する度に巨きくなる、凛然たるストイック・ヴィルトゥオーゾ

早いもので、ショパン国際コンクール優勝から10年。アヴデーエワはアルグリッチ以来45年ぶりの女性覇者として大きく世に羽ばたき、その間に来日も数多いものとなったが、1回1回来る度の著しい成長につくづく感心させられる。彼女が対峙する曲目について研究し、熟知する密度の濃さ、そしてそれを余すことなく発露する演奏からの清々しい感銘。それらがトータルして凛然たる幅と厚みをもつ。好奇心に突き動かされてのレパートリーの広がりも然り、コンクール時から図抜けた存在であったにせよ、実に「巨きな」ピアニストになったな・・・と感慨深いものがある。

楽曲を自分に引き寄せて自身をアピールするパフォーマンスをすることなく、そこにはどういう音でどう書かれ、どんな精神が流れているのかを見極め、各々の「固有の美」を描き出そうとする知的で真摯な姿勢。それをロシアのピアニストたちに底流する強靱なピアニズム・・・底光りする美しいタッチや流麗なレガートなどによって、高度に造型していく

スケール豊かな力量。そしてそこにストイックな雰囲気気を漂わすのがアヴデーエワの大きな個性であるだろう。

その彼女が今回弾く曲目は、まず前半に、2020年が生誕250年のベートーヴェン「幻想曲」と「エロイカ変奏曲」。ベートーヴェンを弾くのに、ソナタではないところがまた彼女らしい。知る人ぞ知る佳品と覇気満々の若き名曲でコントラストを効かせ、玲瓏な音は堅固にして新鮮な構築を築くのか。

そして後半、ハイドンの機知に富んだ変奏曲と彼女が尊敬する故国の大作作曲家にして大ピアニスト、ラフマニノフのソナタ第2番もまた対照的だ。後者ではロシア人のもつDNAを発揮し、広大なロマンの氾濫を描いてくれるのだろうか。

一段と精進しているだろう、アヴデーエワの進境がさらに楽しみだ。

(A)

ユリアンナ・アヴデーエワ (ピアノ) Yulianna Avdeeva, Piano

1985年モスクワ生まれ。グネーシン特別音楽学校やチューリヒ芸術大学で学び、E.イヴァノワやK.シチェルヴァコフに師事。2010年のショパン国際コンクールで優勝し、ツィメルマン最優秀ソナタ演奏特別賞も同時に受賞した。レパートリーは広大で、ショパンにとどまらず、J.S.バッハやモーツァルト、リスト、プロコフィエフ、ラヴェルの作品も世界各地のリサイタルで披露、磨き抜かれた高度なテクニックと深く真摯な音楽解釈が絶賛されている。

ギルバート、デュトワ、プロムシュテット、ユロフスキ、ペトレンコらの指揮のもと、ニューヨーク・フィル、チェコ・フィル、ロンドン・フィル、NDRエルブフィル、バンベルク響、サンタ・チェチーリア管などと共演。ブリュッヘン指揮18世紀オーケストラとの共演ではヒストリカル楽器を弾くなど、活動の範囲も幅広い。2017年にはザルツブルク音楽祭にデビューし、同年のシーズンにはルツェルン・フェスティバルにも登場した。2018年にはベルリンのブルーエズ・ザールでも演奏。

録音も数多く、最近では2017年にMIRAREレーベルから発売したJ.S.バッハのイギリス組曲第2番、トッカータ、フランス風序曲を集めたアルバムのほか、2019年にドイツ・グラモフォンからリリースされたクレーメルとディルヴァナウスカイトと共演したヴァインベルクの室内楽作品集などがある。



©Sammy Hart



J.S. バッハ(1685-1750) :
・イギリス組曲第2番 イ短調 BWV 807
・トッカータ 二長調 BWV 912
・フランス風序曲 口短調 BWV 831

ユリアンナ・アヴデーエワ (ピアノ)
録音: 2017年3月8-10日 / ライツターデル(ノイマルクト/ドイツ)

[CD] KKC 5851 / 日本語解説つき / 3,000+税

アヴデーエワ、MIRAREレーベル第3弾。今回彼女が取り上げたのは、バッハ。イギリス組曲第2番(1725年頃までに完成)、トッカータ二長調(1707あるいは13年頃)、そしてフランス風序曲(1735年出版)と、作曲時期の異なる名作3曲によるプログラム。すべての要素がくっきりと清潔感のある音色で響かせられながらも、ふくやかに歌われており、アヴデーエワの知性と、ますます深化した音楽性に感じ入るバッハとなっています。

ショパン: 幻想曲 ヘ短調 作品 49
モーツァルト: ピアノ・ソナタ第6番 二長調 K.284
リスト: 巡礼の年 第2年「イタリア」～ダンテを読んで～ソナタ風幻想曲
ヴェルディ/リスト編: 「アイーダ」より神前の踊りと終幕の二重唱 S.436

ユリアンナ・アヴデーエワ (ピアノ)
録音: 2015年、ノイマルクト、ライツターデル
[CD] MIR 301 / 日本語解説つき / オープン価格

[CD1] シューベルト: 3つのピアノ曲(1. 変ホ短調、2. 変ホ長調、3. 八長調)
プロコフィエフ: ピアノ・ソナタ第7番 Op.83

[CD2] ショパン: 24の前奏曲 Op.28

ユリアンナ・アヴデーエワ (ピアノ)
録音: 2014年2月10-13日
レ・ヴィンチ、コンベンションセンター、ピエール・ド・ロンサル・オーディトリウム
[CD] KKC 5400(2CD) / 日本語解説つき / 3,241+税

輸入・販売元/株式会社キングインターナショナル TEL: 03-3945-2333 <https://www.kinginternational.co.jp>

チケットのお申込み

カジモト・イープラス

検索

www.kajimotoeplus.com

カジモト・イープラス 050-3185-6728

※オペレーター対応(10:00~18:00)
ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード: 187-845)
e+(イープラス) <http://eplus.jp/>
CNプレイガイド 0570-08-9990
ローソンチケット 0570-000-407
紀尾井ホールチケットセンター 03-3237-0061

カジモト・
イープラス



一般発売:
11/21(土)10:00~

“kajimotomusic”で検索! [f](#) [YouTube](#) [@kajimoto_News](#) [@kajimotomusic](#)

●やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。
●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。●団体料金のご設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。

KAJIMOTO 〒104-0061 東京都中央区銀座6-4-1 東海堂銀座ビル5階 TEL: 03-3574-0550 <http://www.kajimotomusic.com/>